

予算対策委員会

委員長 白道保育園 土山雅之

県下の公私立保育園・認定こども園五百七十四ヶ園で構成する私たち保育連合会は、子ども・子育て支援新制度が本格施行され、保育制度がこれまでになく大きく変革した状況の中、地域で最も身近な子育て支援の拠点として、日々子どもの育ちを保障し、地域の子育て文化を育んでいくため、次の七項目を静岡県に対して要望しています。

- ① 食育の充実と推進するため、非常勤調理員の加配を要望します。
- ② 乳幼児保育事業の充実及び四・五歳児の職員配置改善について要望します。
- ③ 保育標準時間に対応した職員配置の配置および処遇の改善について要望します。
- ④ 保育士確保及び定着促進のため、県内市町が保育士宿舍借り上げ支援事業を実施するよう県から市町へ働きかけを行い、県として保育士の就労・定着促進のための環境改善支援策の導入について要望します。
- ⑤ 年度途中入所サポート事業の継続について要望します。
- ⑥ 東海地震等大震災に対する安心・安全な施設として園舎のさらなる耐震化および施設整備、特に災害対策用の機器、備蓄食料等について充実が図られるよう要望します。
- ⑦ 産休等代替職員雇上事業の補助基準額の

増額について要望します。加えて、保育三団体の予算対策活動に参画し、国に対して要望をしています。

海外交流委員会

委員長 一番町保育園 海野美代子

今年度は、台北で視察研修会を開催しました。平成二十九年十一月五日(日)～九日(木)まで四泊五日の日程で二十二名が参加しました。日曜日夕方、静岡空港からの出発ということで、時間に余裕があり移動も楽に済みました。視察先は、博如日本幼稚園と永和快樂瑪麗安(英語圏の教師による英語による教育が特徴)の二か所でした。少子高齢化、貧富の差という問題があり、すべての子が一定の基準のもと、平等に保育・教育を受けるのが難しいようでした。各施設とも積極的に質問する参加者の皆さんでした。また、市内の視察で台湾の文化、歴史などに触れることができました。充実した研修となりました。

次年度については、六月開催の予定で検討中です。目的はニュージージーランドの予定です。今後のお知らせをおたのしみに：

少子化対策委員会

委員長 一番町保育園 海野美代子

保育所・認定こども園利用者以外に、子育て支援への関心と理解を求める啓発活動を行った場合の経費(一事業五万円)を助成する

「子育て支援啓発活動事業助成金制度」を実施しています。これは複数の施設や団体で行う事業であれば民間園や公立園の区別なく、また、保護者会等の団体でも助成対象としてあります。各支部三事業(十五万円)の予算を組んでおりますので、この助成金を活用したい団体は、各支部事務局にご連絡ください。また現在啓発品について準備検討中です。ポスターや「あいあいホットマークバッチ」など、作成中ですので、今後のご協力よろしくお願いいたします。

研修委員会

委員長 ひくまこども園 山田佳敬

本年度の下期予定研修も民間園長研修会、育児相談研修会が終了いたしました。皆様のご協力ありがとうございました。詳しい内容については、各研修報告のページをご覧ください。

さて、十月の衆議院議員総選挙後から幼児教育無償化が急速に議論されており、実際には自由民主党としてはぜひぶん前から議論されていたようですが、やはり我々国民には急な政策であるかのように感じられます。また、新制度が始まり、もうすぐ三年が経ち、制度の見直しが始まることが予想されます。国の動向から目が離せない時期が続くそうです。

しかし、我々にとって一番大切な使命は「子どもたちの最善の幸福」であることは変わり

～活動の報告と計画～

ありません。今後も制度に偏ることなく、より良い保育のための研修会を企画してまいりたいと思います。今後とも皆様のご協力をお願いいたします。

今年度内の研修会は次の通りです。

○施設長研修会（清水テルサ）

平成三十年一月二十四日（水）

○新規採用予定職員研修会

平成三十年二月中旬から下旬

（会場は各支部の研修会場にて）

保育士のキャリアアップ促進検討特別委員会

委員長 聖心保育園 吉川慶子

静岡県子ども未来局主催のセミナーでの意見や質問等を土台とし、十月十一日に県より保育士等のキャリアアップ研修に係る県の方針（案）が示され、その内容について協議いたしました。県が想定する内容について調整が必要な部分もあり、さらに協議を重ね、十二月五日保育士キャリアアップ制度検討会議において（会長とともに出席）見直されたモデル案の内容、県独自の実施方法・講師の選定・評価方法等について有識者会議で検討されました。

平成三十年度キャリアアップ研修の実施検討についてそろそろ明確な方向性を示さなければならぬ時期にもなってきたため、県・県保連・県保育士会・養成施設とのさらなる連携強化が必要であると考えています。多くの保育士等が参加したい、参加しやすい

事業実施ができるよう進めていきたいと思えます。

保育のしおり編集委員会

委員長 聖心保育園 吉川慶子

第九次改訂版の発刊から二年、保育所保育指針の改定に合わせ、第十次改訂版の編集作業を進め、無事発刊できる運びとなりました。子ども子育て支援法の施行から二年を経過し、保育を取り巻く社会的環境は大きく変化しています。しかし保育の根幹は本来変わっていないはずです。子どもたちが幸せに生活できるよう、子どもの育ちに関わる全ての保育者に向け、一つひとつの項目を委員一同精査し編集いたしました。いつもお手元にお持ちいただき、有効に活用していただきますようお願いいたします。

青年部会

部会長 竜南こども園 太田嶋俊彦

今年度は、全国青年保育者会議の開催という青年部として大変大きな活動がありました。大会にあたり各支部約十名、合計三十二名の実行委員を編成し、一年以上前から内容の検討を重ねてきました。静岡では初の開催ということもあり、手探りの状況で苦労はありましたが、各人が知恵を出し合う中で士気が高まり、青年部として一体感を感じた大変実りある年となりました。来賓の皆様方はは

じめ、県内の多くの先生方にも多大なご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

今後ともこのつながりを大切に、青年部らしい誠実で積極的な活動を行ってまいりますので今後とも青年部の活動にご理解とご協力をお願いいたします。

●実績報告

五月十七日 第五十八回静岡県保育研究大会（応援スタッフとして参加）

六月九日 青年部総会及びシンポジウム

「実践事例から学ぶ教育・保育の質」一定

性変化に基づく質の向上」

九月六日～八日 全国青年保育者会議

●今後の予定

二月七日 西部支部研修会

公開保育・淀川先生、細田先生の講演予定

その他二月、三月に東部支部、中部支部で

各々研修会を行う予定です。

